



“山、から引っ越し?”

住宅地に狸の一家

上町地区のまさご幼稚園近くのヤブに狸が住みつき、近所で話題になっています。

「最初に見かけたのは5,6年前です。去年までは2匹だったんですが、今年になって子が生まれたようで“一家”は4匹。最近では、残飯などを置いておくと朝夕にヤブから出てきて食べていくんですよ」と話してくれたのは、近くに住む原正幸さんご夫妻。

周りは住宅地で、狸が住むような環境ではないのですが、「開発が進み住む場所が少なくなってきたせいでは」と原さんは言います。

タヌキ君にとっては、やっと見つけた“マイホーム”にちがいません。警戒心の強い動物ですから優しく見守ってあげたいですね。

新島営農組合 優秀賞を受賞

農業コンクール全国大会



優秀賞の表彰を受ける伊藤さん

第44回全国農業コンクール全国大会が7月25日に鹿児島市で開かれ、千葉県代表として出場した当町の「新島営農組合(伊藤邦夫組合長)」は発表者・伊藤政信さんが、審査の結果、「優秀賞」を受賞しました。

この大会は、全国から選ばれた20地区の代表が、部門別に農業経営の実績を発表するもので、共同化による生産コストの引下げなどに取り組んできた同組合の実績が評価されたものです。
おめでとうございます。

体験キャンプ

海のつとどい大会



町青少年相談員連絡協議会(伊藤善夫会長)主催の「体験キャンプ」が、7月29日から屋形海岸で行われました。今回参加したのは、小学4年生から6年生までの男女合わせて24名。キラキラと照りつける太陽の下、小麦色に日焼けした子どもたちは、海からわたって来る心地よい潮風を受けながら、テント張りやバーベキュー、ゲームなどで1泊2日の野外生活を楽しみました。

また、30日には「海のつと



い大会」も開かれ、曳網やスイカ割り、宝さがしと海ならではの催しは、夏休みの良い思い出になったようです。